

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	宮崎大学医学部皮膚科学教室開講以来 27 年間に経験した乳房外 Paget 病 58 例の統計	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ8-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	西日本皮膚科	
	雑誌 ID		
	巻	67	
	号	4	
	ページ	387-391	
	ISSN ナンバー	0915-3535	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2005	
	著者情報		氏名
筆頭著者		菊池英維,	宮崎大学医学部皮膚科
その他著者 1		津守伸一郎	
その他著者 2		黒川基樹	
その他著者 3		瀬戸山充	
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	臨床病理学的因子と予後との相関を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	宮崎大学医学部皮膚科学	
	対象者	1977年11月から2003年3月までの乳房外Paget病58例	
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (1)	
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報(年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入(要因曝露)		
	エンドポイント(アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	初診時年齢は46~88歳、平均71.4歳、男性32例、女性26例であった。発生部位は外陰部50例(86.2%)、外陰部から会陰部4例(6.9%)、肛門部2例(3.4%)、腋窩部2例(3.4%)であった。腫瘍形成をみたものは17例(29.3%)で、真皮内浸潤を示したのは36例(62.1%)であった。58例中、触診上、画像上でリンパ節腫脹が認められたものは18例(31.0%)で、また6例に画像検査で他臓器への遠隔転移を認めた。5年生存率は68.2%で病期別にはstage IA及びstage IBで100%、stage II以上では0%であった。リンパ節転移陽性、CEA高値群は有意に予後が悪かった		
結論	組織学的な浸潤レベルが治療方針決定に重要である		

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ） リンパ節転移の有無による生存率の違いを提示している。